

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

記

1. 講師 蒲郡市歯科医師会 前会長 佐藤 厚先生  
(さとう子ども歯科医院 院長)
2. 演題 『成長期の歯科臨床 見落とされがちな異常の発見のための次の一步』  
学校歯科健診を侮るな！ その子にこんなことが隠れているかも！
3. 日時 2024年12月12日(木) 17:30～19:00
4. 場所 ハイブリッド形式  
歯科公衆衛生学分野図書室(D棟10階北側)とZoom

※受講希望者は12月9日(月)までに下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

後日、詳細をご連絡いたします。 <https://forms.office.com/r/yn1vqP2HX0>



## 5. 要旨

みなさんは、先輩から依頼されて学校歯科健診をした経験はありますか？

学校歯科健診の結果は『異常なし』、『要観察』、『歯科受診の必要あり』の3つにふるい分け(スクリーニング)し、『お知らせ用紙』に記入して全児童・生徒に伝達することになっています。しかし、視診だけの学校歯科健診で全ての異常を発見することは不可能です。私はかねてより学校歯科医として『異常なし』と言い切つてよいのか疑問に思ってきました。本講義では、この問題に対して蒲郡市歯科医師会が取り組んできたことをお伝えするとともに、成長期の歯科臨床においてときどき遭遇する発見しにくい異常を紹介します。

担当教員: 歯科公衆衛生学分野・教授 相田潤

連絡先: 伊藤 secretary.ohp@tmd.ac.jp